

平成 21 年度
教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検、評価報告書

平成 22 年 8 月
安芸高田市教育委員会

目 次

【点検及び評価の結果】

I	教育委員会の活動状況	
	1. 委員の選任状況	・・・・・・・・ 1
	2. 教育委員会会議の開催状況	・・・・・・・・ 1～ 3
	3. 研修会への参加状況	・・・・・・・・ 3～ 4
II	教育総務課	
	1. 教育委員会費	・・・・・・・・ 5
	2. 事務局総務管理費	・・・・・・・・ 5
	3. 情報教育推進基盤整備事業費	・・・・・・・・ 6
	4. 学校耐震化推進事業費	・・・・・・・・ 6～7
	5. 小中学校施設・整備等管理整備事業費	・・・・・・・・ 7
	6. 就学援助事業費	・・・・・・・・ 7
	7. 小学校管理費	・・・・・・・・ 8
	8. 中学校管理費	・・・・・・・・ 8～9
	9. 学校給食施設管理運営費	・・・・・・・・ 9
III	学校教育推進室	
	1. 学校保健推進事業費	・・・・・・・・ 10
	2. 学校安全管理事業費	・・・・・・・・ 10
	3. 学力向上推進事業費	・・・・・・・・ 10～12
	4. 特色ある学校づくり事業費	・・・・・・・・ 12～14
	5. 特別支援教育推進事業費	・・・・・・・・ 14～15
	6. 国際理解教育推進事業費	・・・・・・・・ 15
	7. 体験活動推進事業費	・・・・・・・・ 15～16
	8. 適応指導教室運営事業費	・・・・・・・・ 16
	9. 生徒指導対策充実事業費	・・・・・・・・ 16～17
	10. 開かれた学校づくり推進事業費	・・・・・・・・ 17
	11. 人材育成事業費	・・・・・・・・ 18
	12. 幼稚園管理運営事業費	・・・・・・・・ 18
IV	生涯学習課	
	1. 社会教育総務管理費	・・・・・・・・ 19
	2. 施設維持管理費	・・・・・・・・ 19～20
	3. 生涯学習推進事業費	・・・・・・・・ 20
	4. 人権教育事業費	・・・・・・・・ 20～21
	5. 成人教育事業費	・・・・・・・・ 21

6. 青少年教育事業費	・ ・ ・ ・ ・ 21～22
7. 家庭教育支援事業費	・ ・ ・ ・ ・ 22
8. 公民館維持管理事業費	・ ・ ・ ・ ・ 22
9. 小年自然の家管理運営事業費	・ ・ ・ ・ ・ 23
10. 国際交流事業費	・ ・ ・ ・ ・ 24
11. 俗資料館運営事業費	・ ・ ・ ・ ・ 24～25
12. 文化財保護事業費	・ ・ ・ ・ ・ 25
V 文化スポーツ振興室	
1. 図書館運営事業費	・ ・ ・ ・ ・ 26～27
2. 文化センター運営事業費、美術館運営事業費、 文化芸術振興団体育成事業費	・ ・ ・ ・ ・ 27～29
3. 保健体育総務管理費、体育施設維持管理費	・ ・ ・ ・ ・ 29～30
4. スポーツ振興団体育成事業費	・ ・ ・ ・ ・ 30～31
5. スポーツ教室・大会等開催事業費	・ ・ ・ ・ ・ 31～32
6. スポーツ指導者等育成事業費	・ ・ ・ ・ ・ 32
VI 地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業	・ ・ ・ ・ ・ 33
VII 教育行政評価委員会の意見	
1. 教育行政評価委員会の設置目的	・ ・ ・ ・ ・ 34
2. 開催日時及び場所	・ ・ ・ ・ ・ 34
3. 出席者	・ ・ ・ ・ ・ 34
4. 報告	・ ・ ・ ・ ・ 34～35
5. 議題	・ ・ ・ ・ ・ 35
6. 委員からの主な意見等	・ ・ ・ ・ ・ 35～36
学校教育に関する事務事業について	・ ・ ・ ・ ・ 35
生涯学習に関する事務事業について	・ ・ ・ ・ ・ 35～36
文化・スポーツの振興に関する事務事業について	・ ・ ・ ・ ・ 36
教育行政全般に関する意見	・ ・ ・ ・ ・ 36

I 教育委員会の活動状況

1. 委員の選任状況

平成 22 年 8 月 1 日現在

職 名	名 前	任 期	備 考
委員長	上田 隆之 <small>うえだ たかゆき</small>	平成 20 年 4 月 28 日～平成 24 年 4 月 27 日	
委員長職務代理者	佐々木 哲志 <small>ささき さとし</small>	平成 21 年 4 月 28 日～平成 25 年 4 月 27 日	
委 員	堀川由紀子 <small>ほりかわ ゆきこ</small>	平成 22 年 4 月 28 日～平成 26 年 4 月 27 日	
委 員	中村 保子 <small>なかむら やすこ</small>	平成 20 年 7 月 8 日 ～平成 23 年 4 月 27 日	
委 員	寺尾 文尚 <small>てらお ぶんしょう</small>	平成 22 年 4 月 28 日～平成 26 年 4 月 27 日	
教育長	佐藤 勝 <small>さとう まさる</small>	平成 20 年 4 月 28 日～平成 24 年 4 月 27 日	

※任期は委員としての任期、委員長の任期は 1 年、教育長の任期は 4 年

2. 教育委員会会議の開催状況

会議では、教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針等について審議している。会議は原則として毎月 1 回開催し、必要に応じて臨時に会議を開催している。

開催期日	区 分	件 名
4 月 9 日	審議事項	1 安芸高田市就学指導委員会規則の一部を改正する規則について 2 平成 21 年度安芸高田市就学指導委員の委嘱について 3 平成 21 年度安芸高田市学校評議員の委嘱について
	報告事項	1 国際理解教育推進業務委託候補者選定審査会要綱の一部改正 2 安芸高田市教育委員会事務決裁規程の一部改正 3 安芸高田市学校評議員設置要綱の一部改正 4 安芸高田市家庭教育支援事業実施要領の制定
4 月 28 日 (臨時会)	審議事項	1 安芸高田市教育委員会委員長の選任について 2 安芸高田市教育委員会委員長職務代理者の指定について 3 平成 21 年度安芸高田市学校関係者評価委員の委嘱について 4 安芸高田市学校規模適正化委員会設置及び運営要綱の制定について
	報告事項	1 安芸高田市教育委員会感謝状贈呈要領の制定 2 安芸高田市家庭教育支援員配置事業実施要綱の一部改正 3 平成 21 年度全国学力・学習状況調査等の学力調査の結果の公表に関する事務取扱要領の制定
5 月 14 日	審議事項	1 平成 21 年度就学援助費（第 1 号）の認定について
	報告事項	1 安芸高田市社会教育委員の委嘱について 2 安芸高田市公民館運営審議会委員の委嘱について 3 安芸高田市資料館運営委員の委嘱について
6 月 5 日	審議事項	1 平成 21 年度就学援助費（第 1 号）の認定について 2 平成 21 年度一般会計（教育費）補正予算について 3 平成 22 年度使用中学校教科用図書の採択基本方針について 4 平成 22 年度使用中学校教科用図書の採択に係る選定委員及び調査員の委嘱について 5 平成 21 年度国際交流事業について

	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 安芸高田市教科用図書採択地区採択事務取扱い要領の一部改正 2 県費負担教職員の任免について 3 学校規模適正化事業について
7月9日	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 学校規模適正化事業について 2 教育委員会事務分掌の変更について
8月27日	審議事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成20年度一般会計（教育費）決算について 2 平成21年度一般会計（教育費）補正予算〔第3号〕について 3 平成22年度使用中学校教科用図書の採択について 4 平成22年度特別支援学級使用教科用図書の採択について 5 平成20年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検、評価報告書について
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 安芸高田市教育行政評価委員会設置及び運営要綱の一部改正 2 学校規模適正化事業について 3 行政改革大綱について
9月15日	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 安芸高田市小学校及び中学校の通学区域に関する規則第3条ただし書の規定に関する要綱の制定 2 安芸高田市社会教育委員の委嘱について 3 平成21年度実施小中学校学力調査結果について
10月8日	審議事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成21年度安芸高田市学校評議員の委嘱について 2 平成21年度安芸高田市学校関係者評価委員の委嘱について
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 安芸高田市スポーツ振興会議委員の委嘱について 2 学校規模適正化事業について 3 教育行政評価委員会の意見について 4 学校耐震化事業について 5 県費負担教職員の任免について
11月11日	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 学校規模適正化事業について 2 甲立古墳（仮称）の確認について 3 安芸高田市芸術農園「四季の里」作家選定審査会委員の委嘱について
12月3日	協議事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成21年度一般会計〔教育費関係〕補正予算（第5号）について
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 安芸高田市重要文化財指定基準の制定 2 安芸高田市史跡名勝天然記念物指定基準の制定 3 安芸高田市無形文化財の指定並びに保持者認定の基準の制定 4 安芸高田市無形民俗文化財指定基準の制定 5 安芸高田市有形民俗文化財指定基準の制定 6 学校規模適正化事業について 7 今後の社会教育施設の維持管理のあり方について 8 今後の公民館事業のあり方について 9 安芸高田市スポーツ振興計画並びに今後の社会体育施設の維持管理のあり方について 10 平成22年度以降の図書館管理運営について 11 平成22年度広島県公立学校教職員人事異動方針について
1月14日	審議事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 安芸高田市文化財保護条例の一部を改正する条例について 2 安芸高田市歴史民俗資料館設置及び管理条例の一部を改正する条例

		<p>について</p> <p>3 安芸高田市文化センター設置及び管理条例の一部を改正する条例について</p> <p>4 安芸高田市立図書館条例の一部を改正する条例について</p> <p>5 安芸高田市文化センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>6 安芸高田市指定史跡の指定について</p> <p>7 平成 21 年度就学援助費（第 2 号）の認定について</p> <p>8 安芸高田市文化財保護審議会条例の一部を改正する条例について</p>
	報告事項	<p>1 安芸高田市教育委員会が任用する非常勤職員の任用等の取扱いの指針について</p> <p>2 学校規模適正化事業について</p>
2 月 9 日	審議事項	<p>1 平成 21 年度一般会計〔教育費関係〕補正予算（第 7 号）について</p> <p>2 平成 22 年度一般会計〔教育費関係〕当初予算について</p> <p>3 安芸高田市社会教育指導員規則の一部を改正する規則について</p> <p>4 安芸高田市埋蔵文化財取扱規則の制定について</p> <p>5 開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準の制定について</p> <p>6 安芸高田市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について</p>
	報告事項	<p>1 平成 21 年度一般会計〔教育費関係〕補正予算（第 6 号）について</p> <p>2 学校歯科医の委嘱について</p> <p>3 安芸高田市教育委員会非常勤職員人材登録制度事務取扱要領の一部を改正する訓令について</p> <p>4 学校規模適正化事業について</p>
3 月 17 日	審議事項	<p>1 安芸高田市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について</p> <p>2 安芸高田市教育委員会職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則について</p> <p>3 安芸高田市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>4 安芸高田市歴史民俗資料館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>5 安芸高田市生涯学習自主活動団体支援事業要綱の一部を改正する告示について</p> <p>6 甲立古墳緊急調査指導委員会設置及び運営要綱の制定について</p> <p>7 平成 22 年度県費負担教職員の人事異動内申について</p> <p>8 平成 22 年度安芸高田市教育委員会職員の人事異動について</p>
	報告事項	<p>1 平成 22 年度教育委員会非常勤特別職の任用について</p>

3. 研修会への参加状況

教育委員は、各種研修会に積極的に参加し、国、県の動向や県内市町の取り組みについて情報を収集している。

平成 21 年度も多くの研修に参加し、今後の教育委員会のあり方について検討していくための情報や知識を得ることができた。

研 修 名	内 容
平成 21 年度広島県女性教育委員	講話「教育の情報化～児童・生徒を取り巻くネットの現状と課題

グループ第1回研修会 7/13 広島市	について」広島県警察本部生活安全企画課サイバー犯罪対策 係 警部補 金山喜和氏 総会（平成21年度研修事業計画等）
第7回中国地区市町村教育委員会 連合会研修大会 7/16～17 山口県山口市	実践発表 鳥取県南部町教育委員会教育長 永江多輝夫 山口県萩市教育委員会委員長 山本醒史 記念講演 山口大学教授 長畑実 視察研修
平成21年度県・市町教育委員合同 研修会 9/11 広島市	研修会 情報交換 教育行政の課題の整理
平成20年度広島県市町教育委員 会教育委員研修会 11/17 広島市	講話 広島県教育委員会教育長 榎田好一氏 講演「特別支援教育の現状と課題・発達障害への理解と対応」 東京学芸大学名誉教授 上野一彦氏 実践発表「学力向上への挑戦」府中町立府中緑ヶ丘中学校
平成21年度市町村教育委員会研 究協議会 11/18～20 滋賀県大津市	行政説明「初等中等教育をめぐる課題と動向」 基調講演「学校と地域社会の連携を推進する教育委員会のあり 方について」 パネルディスカッション「テーマ：学校と地域社会の連携を推 薦する教育委員会のあり方について」 事例発表及び研究協議（各分科会）
平成21年度広島県女性教育委員 グループ第3回研修会 2/16 広島市	実践発表 世羅町教育委員会委員 実践報告「世羅町の小学校統廃合の取組みについて」 講話「中学校学力向上対策事業について」指導第一課 教育指 導監 栗原築波氏 情報交換「各地域の中学校学力向上対策事業について」

II 教育総務課

1. 教育委員会費

【総括】

- ・教育委員会は6名の教育委員で構成しており、毎月の定例会議に加え必要に応じて臨時会を開催し、教育行政に関する重要案件を審議、決定している。

【実施内容】（教育委員会費決算額 3,192,410円）

- ・主な事業内容

委員報酬 2,854,000円

定例会（原則として毎月第2木曜日に開催する。）…12回

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
月日	4/9	5/14	6/5	7/9	8/27	9/15	10/8	11/11	12/3	1/14	2/9	3/17

臨時会…1回

回	1
月日	4/28

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 会議（議案等）資料を事前送付したことにより、会議の効率的な進行及び十分な審議を確保することができた。
- 教育委員が積極的に学校訪問などへ参加し、教育現場の実態を確認することができた。
- 会議録作成の外部委託を検討する必要がある。

2. 事務局総務管理費

【総括】

- ・教育委員会の一般管理に要する経常的な経費を執行した。（維持管理経費など）

【実施内容】（事務局総務管理費決算額 9,359,921円：職員人件費を除く）

- ・主な事業内容

委員報酬 1,284,000円（学校規模適正化委員会委員報酬）

医薬材料費 697,000円（インフルエンザ対策薬剤）

業務委託料 1,470,000円（学校規模適正化基本プラン策定業務）

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 教育委員会事務局の組織を見直し、責任体制の明確化と効率化を図った。
- 事務局会議（課長会議）の定例化により、事務事業の進捗管理を行うとともに情報を共有し、意思疎通、迅速化を図った。
- 学校規模のあり方について、学校規模適正化委員会へ諮問し、本市の小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方について検討を行った。
- 教育行政評価委員会の設置による外部評価の導入及び市民への情報公開を実施した。
- 新型インフルエンザ対策として薬剤の配付を行い、感染の未然防止に努めた。
- 今後も継続した組織機構の見直しにより、効率のよい事務執行に努めることが必要である。

3. 情報教育推進基盤整備事業費

【総括】

- ・学校における情報環境を整備した。

【実施内容】（情報教育推進基盤整備事業費決算額 34,521,279 円）

・主な事業内容

保守点検委託料 3,048,150 円（学校用パソコン、事務機器保守点検業務）

事務機器借上料 31,037,934 円（学校用パソコン、事務機器借上）

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 教職員一人一台パソコンの効果的運用のために、校内 LAN を再構築するとともに、専用グループウェアの機能強化を図った。
- 各学校の情報化推進委員の会議、研修会等を開催し、効果的な運用に努めることができた。
- 教職員一人一台パソコン配置の適正かつ効果的な運用のために、情報保護の面から統一的なセキュリティポリシーの策定や職員研修を強化する必要がある。

4. 学校耐震化推進事業費

【総括】

- ・安心安全な教育環境を確保するため、学校施設の耐震化対策を行った。

【実施内容】（学校耐震化推進事業費決算額 41,412,600 円：繰越 1,119,652,000 円）

①小学校の耐震化に関する経費（耐震第2次診断、補強設計）

吉田小学校（校舎）第2次診断 3,303,300 円（平成20年度から繰越）

吉田小学校（校舎）補強設計 7,770,000 円（平成20年度から繰越）

向原小学校（校舎）第2次診断 0 円（平成22年度～繰越 3,465,000 円）

吉田小学校（新校舎）第2次診断 0 円（平成22年度～繰越 2,079,000 円）

②小学校の耐震補強関連工事に関する経費

吉田小学校（校舎）関連工事実施設計 6,510,000 円

③中学校の耐震化に関する経費（耐震第2次診断、補強設計）

吉田中学校（校舎）第2次診断、補強設計 10,034,300 円（平成20年度から繰越）

向原中学校（校舎）第2次診断、補強設計 7,075,000 円（平成20年度から繰越）

甲田中学校（体育館）第2次診断、補強設計 0 円（平成22年度～繰越 6,510,000 円）

吉田中学校（体育館）第2次診断 0 円（平成22年度～繰越 1,890,000 円）

甲田中学校（校舎）第2次診断 0 円（平成22年度～繰越 5,145,000 円）

八千代中学校（校舎）第2次診断 0 円（平成22年度～繰越 4,305,000 円）

④中学校の耐震補強関連工事に関する経費

吉田中学校（校舎）関連工事実施設計 3,675,000 円

向原中学校（校舎）関連工事実施設計 3,045,000 円

⑤小中学校の耐震補強工事に関する経費

吉田小学校耐震改修工事 0 円（平成22年度～繰越）

吉田中学校耐震改修工事 0 円（平成22年度～繰越）

向原中学校耐震改修工事 0 円（平成22年度～繰越）

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 耐震改修等の年次計画を策定するとともに、第2次診断及び耐震補強設計に着手した。
- 耐震化対策については、旧基準の全ての学校施設への耐震第2次診断を早期に実施し、これに基づく耐震補強等工事の着手が求められる。また、これと並行して、関連工事を実施し、老朽化した施設・設備については、質的整備を図る必要がある。

5. 小中学校施設・整備等管理整備事業費 ※中事業合算

【総括】

・学校施設・設備の維持管理のため、修繕や委託業務を執行するとともに、備品を整備した。

【実施内容】（小中学校施設・整備等管理整備事業費決算額 120,844,853円）※中事業を合算

工事請負費 19,006,050円（市内小中学校修繕工事）

①小学校 14,153,160円

小田小学校教室改修工事

可愛小学校除草置場設置工事 外33件

②中学校 4,852,890円

八千代中学校自転車置場屋根改修工事

高宮中学校音楽室カーペット改修工事 外16件

業務委託料 12,234,693円（学校警備委託、清掃業務委託）

保守点検委託料 16,108,885円（学校設備点検業務委託）

備品購入費 41,927,026円（図書、デジタル対応テレビ、テレビスタンド）

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 学校施設の危険箇所については、重大事故の防止に向けて、おおむね改良することができた。
- テレビ放送の地上デジタル化に対応するため、地デジ対応テレビの配置を行った。
- 経年により老朽化が顕在化している学校施設の大規模改修が課題であり、耐震補強及び学校規模適正化事業との整合を図ることが必要である。

6. 就学援助事業費

【総括】

・小中学校児童生徒に対し就学援助の給付をするとともに、高等学校等の学生へ奨学金を貸付し、就学機会の確保へむけて経済的支援を行った。

【実施内容】（就学援助事業費決算額 26,235,053円）

援助費 18,091,984円 329人

奨励費 536,569円 15人

貸付金 3,010,000円 7人

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 全国的な経済不況の中で、失業など就労環境の悪化により、収入の減少した世帯に対して、経済的支援として就学援助を行うことができた。
- 奨学金については、滞納が発生しないよう適正な事務執行が必要である。
- 就学援助費申請の手続きの迅速化が必要。ただし、申請者の認識を高め、制度の周知に一層努める必要がある。

7. 小学校管理費

【総括】

- ・小学校 13 校に係る維持管理に係る経費を執行した。(学校共同事務室執行分を含む)

【実施内容】(小学校管理費決算額 78,625,839 円)

・主な事業内容

光熱水費、燃料費、消耗品費、印刷製本費他	52,448,010 円
スクールバス運行委託料	8,979,340 円
自動車借上料	3,000,460 円

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 学校管理運営費のほとんどが経常経費であるため、大きな予算削減は見込めないが、光熱水費や学校美化関係経費の節減を図った。
- 学校事務(共同事務室)では、事務処理マニュアルを作成し、適正で効率的な事務処理を図った。また、事務長を配置することにより、チェック体制が確立し事務の正確性が向上した。
- 適正な予算執行へむけて、事務職員の研修会を開催した。
- 図書及び机等については、年次計画により計画的に整備を進めることができた。
- 共同事務室の設置意義を高め、一層有効に活用するため、経常的経費の事務処理範囲の拡大などを進めたが、今後も引き続き予算執行の守備範囲を見直す必要がある。
- 通学費助成事業については、合併前の制度を踏襲し地域間で格差があることから、公共交通の総合的な見直しと併せて、抜本的な見直しをする必要がある。
- 警備委託料など一括及び長期契約等の導入により、経費の縮減に努めることが必要である。

8. 中学校管理費

【総括】

- ・中学校 6 校に係る維持管理に係る経常経費などを執行した。(学校共同事務室執行分を含む)

【実施内容】(中学校管理費決算額 49,962,453 円)

・主な事業内容

光熱水費、燃料費、消耗品費、印刷製本費他	25,619,113 円
スクールバス運行委託料	9,706,839 円
自動車借上料	7,336,259 円

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 学校管理運営費のほとんどが経常経費であるため、大きな予算削減は見込めないが、光熱水費や学校美化関係経費の節減を図った。
- 学校事務(共同事務室)では、事務処理マニュアルを作成し、適正で効率的な事務処理を図った。また、事務長を配置することにより、チェック体制が確立し事務の正確性が向上した。
- 適正な予算執行へむけて、事務職員の研修会を開催した。
- 図書及び机等については、年次計画により計画的に整備を進めることができた。
- 共同事務室の設置意義を高め、一層有効に活用するため、経常的経費の事務処理範囲の拡大などを進めたが、今後も引き続き予算執行の守備範囲を見直す必要がある。

- 通学費助成事業については、合併前の制度を踏襲し地域間で格差があることから、公共交通の総合的な見直しと併せて、抜本的な見直しをする必要がある。
- 警備委託料など一括及び長期契約等の導入により、経費の縮減に努めることが必要である。

9. 学校給食施設管理運営費

【総括】

- ・ 5 箇所の給食調理場・学校給食センター及び自校給食調理場 3 箇所の運営に関する経費を執行し、安心安全な給食の提供に努めた。

【実施内容】（学校給食施設管理運営費決算額 60,574,913 円：職員人件費を除く）

- ・ 主な事業内容

委託料 36,115,951 円（調理員 205 名/年 派遣委託料 23,030,676 円ほか）

需用費 17,202,674 円（光熱水費、修繕料、燃料費ほか）

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- いずれの施設も施設・設備の老朽化が顕在化しており、故障も多く発生する状況ではあるが、新給食センターの建設を踏まえながら、安心安全で安定的な給食の提供のために、迅速な修繕など必要最小限度の維持管理に努めた。
- 食材の地産地消を進めるため、安定的な供給体制の確保を図る必要がある。

Ⅲ 学校教育推進室

1. 学校保健推進事業費

【総括】

- ・入学前の子どもの検診を行い、健康状態を把握した。
- ・学校医の委嘱、児童生徒、教職員の健康診断の実施により健康管理を行った。

【実施内容】（学校保健推進事業費決算額 9,560,127 円）

・主な事業内容

- 学校医、学校歯科医、薬剤師の報酬 5,150,000 円
- 児童、生徒の尿検査等業務委託料、教職員健診委託料 2,098,835 円
- 備品購入（検診用滅菌器） 798,000 円

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 保育所・幼稚園と連携した効率的な就学時健康診断ができた。

2. 学校安全管理事業費

【総括】

- ・学校生活及び登下校時の安全を確保し、安心して学校生活を送れることができるよう体制を整えた。

【実施内容】（学校安全管理事業費決算額 2,354,555 円）

- 消耗品費（防犯ブザー、熊除鈴） 196,875 円
- 災害共済掛金 2,157,680 円

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 入学時に防犯ブザーや熊除鈴の配付し、安全確保に努めるとともに、新入児童及び保護者の防犯意識の高揚を図った。
- 災害保険を掛けることで、学校活動における不慮の事故や災害に備え、教育活動の円滑な推進を図ることができた。
- 常日頃から、未然防止の視点で学校事故防止に努めるとともに、発生時における組織的な危機管理対応ができるよう、体制を構築する必要がある。

3. 学力向上推進事業費

【総括】

- ・学習補助員（全小学校へ14名）、非常勤講師（川根小学校へ1名、吉田中学校へ1名）を配置し、きめ細やかな指導体制を整備することによって、児童生徒の学力の定着向上を図った。
- ・各種学力調査を実施し、児童生徒の学力実態及び生活実態を把握・分析した。その結果から授業改善を図った。
- ・学力向上関連指定事業研修会、校内授業研究会へ指導主事を派遣し、授業改善への指導を行い、教職員の授業力の向上を図った。

【実施内容】（学力向上推進事業費決算額 32,128,770 円）

節（細節）	決算額（円）	概 要
報酬（非常勤職員報酬）	30,848,236	・学習補助員 全小学校 14名の報酬 ・非常勤講師 川根小・吉田中 2名の報酬
委託料（業務委託料）	727,500	・学力調査業務委託料

・主な支出内容

<国・県費委託事業関係>

事業名	決算額（円）	概 要
学力の把握に関する研究指定校事業 （国立教育政策研究所）	250,953	指定校：可愛小学校
学力向上研究推進地域指定事業 （広島県教育委員会）	284,277	全中学校（推進委員会・教科研究）

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 学力調査結果の分析を受け、各学校において授業改善、指導方法の工夫を進めた。その結果、基礎的・基本的な学習内容は概ね定着してきている。

<基礎学力が定着している（通過率 60%以上）の児童生徒の割合>

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 21 年度広島県
小学校国語	61.9%	70.8%	89.2%	80.7%
小学校算数	85.8%	92.6%	93.5%	88.2%
中学校国語	85.1%	85.6%	87.6%	79.0%
中学校数学	79.4%	70.3%	77.2%	70.5%
中学校英語	86.6%	82.5%	75.9%	64.2%

※広島県基礎・基本定着状況調査より

- 学習補助員の市内全小学校配置については、児童、保護者、担任へのアンケート調査結果によると、児童の学習意欲の向上や授業中の個別指導の充実において効果が見られた。

また、学習補助員の研修を年間 3 回実施し、学習補助員の指導力の向上等職能成長を図った。

<平成 22 年 3 月末実施>

児童アンケート（回答 456 人）	肯定	否定
授業でわからないとき学習補助員がいると助かりますか。	95.5%	4.5%
放課後学習でよくわかるようになりましたか。	94%	6%
前の学年の時よりもよく勉強をするようになりましたか。	93%	7%

保護者アンケート（回答 372 人）	肯定	否定
お子様にとって授業中に学習補助員が役立っていると思われませんか。	91%	9%
お子様にとって放課後学習が役立っていると思われませんか。	94%	6%

担任アンケート（回答 26 人）	項目
学習補助員との協力で役に立っていると強く感じていること	授業中の個別指導の充実 児童の学習意欲向上
学習補助員との協力でそれほどには役に立っていないと感じていること	宿題の提出率 忘れ物減少 家庭学習の意欲向上

- きめ細やかな指導体制の整備という視点からは、学級の在籍児童生徒数も考慮する必要がある。多人数学級への対応を再考し、学習補助員のより効率的な配置を検討する。

4. 特色ある学校づくり事業費

【総括】

・市立幼稚園、小中学校が、園児児童生徒の実態や地域、保護者の願いを踏まえた特色ある教育活動や教育研究を展開した。地域体験学習、伝統的な学習活動を通して、地域を愛する心や感謝の心等の豊かな心を育成するとともに、教育研究により教職員の指導力の向上を図った。

【実施内容】(特色ある学校づくり事業費決算額 5,485,087円)

・主な支出内容

No.	学校名	主な事業実績		決算額 (円)
		特色ある教育研究 (研究主題・研究教科)	特色ある教育活動	
1	吉田幼稚園	・体力の向上	・体操教室	124,996
2	吉田小学校 【文科省道徳教育 実践研究事業推進 校】	・自己肯定感を高める「心に響く道徳 の時間」の創造 ・道徳	・花いっぱい活動 ・百万一心劇、自画像製作	362,272
3	可愛小学校 【文科省学力の把 握に関する研究指 定校事業】	・数学的思考力の育成～図形・数量関 係領域における評価の工夫改善を 通して ・算数	・可愛っ子ソーラン創造 ・農業・川学習	247,793
4	郷野小学校	・筋道を立てて考える力の育成～「読 む力」を高める指導の工夫を通して ・国語	・金管バンド活動 ・芝生を活用した体力づくり	426,976
5	刈田小学校	・「思考力を育成する指導の工夫」～ 算数的活動の充実を重視した授業 づくり ・算数	・歌唱指導 ・花いっぱい運動	240,925
6	根野小学校	・問題解決の力を育てる学習活動の 創造～科学的なものの見方や考え 方を養い、伝える力を培う指導のあ り方 ・理科	・地域の自然観察等環境学習	320,047
7	美土里小学校	・確かな学力を育成する学びの創造 ～「ひろしま」学びのサイクルを基 底にすえた取り組みを通して ・全教科	・「美土里協育夢プラン2 1」 ・米作りを通じた地域体験学 習	262,355
8	川根小学校	・へき地小規模校の特性を生かした 学習意欲を高める指導のあり方～ 全員参加で練り合う授業づくり ・算数	・まごころ高齢者交流、炭焼 き等地域体験学習 ・自転車乗り方大会出場	246,995

9	来原小学校	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学び,論理的思考ができる子どもをめざして～ことばの教育を活用し,練り合い深め合う算数科の授業づくり 算数 	<ul style="list-style-type: none"> 牧場体験、陶芸活動等地域体験学習 ブラスバンド活動 	284,467
10	船佐小学校	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力を育む授業の創造～「わかる!できる!」算数科指導の工夫 算数 	<ul style="list-style-type: none"> 「船佐っ子太鼓」演奏 そば栽培、そば打ちを通じた地域体験学習 	234,916
11	甲立小学校	<ul style="list-style-type: none"> 読書を楽しみ,豊かに表現し合う児童の育成～読書を生かした授業の工夫と読書しやすい環境づくりを通して 国語 	<ul style="list-style-type: none"> 梨作り等地域体験学習 「ようこそ先輩」生き方に学ぶキャリア教育 	395,395
12	小田小学校	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで探究する児童を育てる生活科・総合的な学習の時間の創造～児童用シラバスの開発を通して 生活科・総合 	<ul style="list-style-type: none"> 大土山田楽 梨作り等地域体験学習 	343,579
13	小田東小学校	<ul style="list-style-type: none"> 読解力を高める「わかる授業」の創造～説明的文章における指導の工夫 国語 	<ul style="list-style-type: none"> 梨作り等地域体験学習 読み語り等読書活動 	208,000
14	向原小学校	<ul style="list-style-type: none"> 論理的に思考し,表現できる子どもの育成～国語科における「書く活動」を通して 国語 	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動 伝統文化継承(和太鼓学習) 	240,500
15	吉田中学校 【生徒指導研究推進校】	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力と豊かな心の育成を図る教育の創造～「読解力」と「表現力」の育成を通して 全教科 	<ul style="list-style-type: none"> 吹奏楽部活動 着付け、茶道、華道等我国の伝統文化に触れる活動 校内写生大会、環境美化運動等情操教育の推進 	489,830
16	八千代中学校 【中学校学力向上対策事業指定校】	<ul style="list-style-type: none"> 夢を持ち,今を頑張る意欲の育成 全教科 	<ul style="list-style-type: none"> 職業人講話等キャリア教育 地域芸能継承活動「田楽」 	155,870
17	美土里中学校 【中学校学力向上対策事業指定校】	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が,自ら学び,自ら考える力をつける授業づくり～学習意欲と思考力を高める指導方法の工夫 全教科 	<ul style="list-style-type: none"> 「美土里協育夢プラン21」 神楽上演等地域伝統文化継承学習 	355,534
18	高宮中学校 【中学校学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ楽しさを味わい,自ら学ぶ生徒の育成～「教えて考えさせる授業」 	<ul style="list-style-type: none"> 校内清掃クラスマッチ 花いっぱい運動 	113,680

	対策事業指定校】	を通して ・ 全教科		
19	甲田中学校 【中学校学力向上 対策事業指定校】	・ 『生徒と生徒のこころをつなぐ教育の創造』～授業の中で～授業における表現力を高める取組みを通して ・ 全教科	・ 小中連携事業 ・ 地域芸能伝承活動「五龍太鼓」	217,135
20	向原中学校 【中学校学力向上 対策事業指定校】	・ 志を持ち、中学校時代の今を努力する生徒の育成 ・ 全教科	・ 職業人講話 ・ キャリア教育推進	190,722

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 児童生徒実態を踏まえた教育研究を深化させたことによって、校内研修が充実し教職員の授業力が向上している。
- 地域人材の招聘や地域体験学習、伝統的な教育活動を通して、子どもたちに郷土を愛する心や感謝の心等豊かな心が育ってきている。
- 地域連携、学校間連携の深化により、開かれた学校づくりが推進された。
- 事業趣旨に照らして内容を精査し、事業のより効率的な実施を検討する必要がある。

5. 特別支援教育推進事業費

【総括】

- ・ 小学校 6 校 8 名の教育介助員を配置し、学習や生活の面で特別な支援を要する児童の個々の実態に応じた教育支援ができる指導体制を整備した。
- ・ 就学指導委員会において、専門的な見地から、児童生徒個々の就学について協議し、児童生徒の障害の状況に応じた適正な就学指導に努めた。
- ・ 特別支援教育研修会を実施し、教職員の専門性の向上を図った。

【実施内容】（特別支援教育推進事業費決算額 16,631,040 円）

- ・ 主な支出内容

節（細節）	決算額（円）	概要
報酬（非常勤職員報酬）	16,418,380	・ 教育介助員 6 小学校 8 名の報酬

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 教育介助員を配置したことで、個々の児童のニーズに応えるきめ細やかな教育活動を展開することができた。
- 特別支援教育研修会においては、教育課程の編成、教科書の選定等基礎的な指導をするとともに、組織的に取り組む特別支援教育のあり方、教育介助員に期待される役割等について研修を深め、職員の専門性の向上を図った。
- 理論研修に終わらぬよう、授業研究等を導入し、関係職員の実践的な指導力の向上を図る研修を工夫する必要がある。

- 専門家招聘による巡回相談を実施しているが、教育相談体制の充実については、保護者、教職員ともにニーズが高まっているため、さらに充実させる必要がある。

6. 国際理解教育推進事業費

【総括】

- ・異文化理解を図り国際理解感覚を醸成するとともに、英語学力の向上を目的として、5名のALTを幼稚園、保育所、小学校、中学校に授業アシスタントとして派遣した。
- ・ALTを生涯学習の英会話教室に講師として派遣した。

【実施内容】（国際理解教育推進事業費決算額 24,582,000円）

- ・主な支出内容

節（細節）	決算額（円）	概要
委託料（業務委託料）	24,570,000	・ALT5名派遣業務委託料

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 中学校における英語学力については、教科全体、聞くこと及び実技に成果が表れている。また、英語授業への意欲の向上が見られ、授業改善の成果が表れつつある。
- 小学校の外国語活動については、新学習指導要領において5、6年生の教育課程として位置付けられたこともあり、教職員の研修を工夫し指導力の向上を図りたい。

英語科		H19	H20	H21
教科全体	県	73.4	71.1	65.2
	市	78.0	76.8	71.9
聞くこと	県	85.1	79.1	60.6
	市	87.3	82.8	68.0
実技	県	75.0	73.8	78.0
	市	84.4	82.1	85.1

中2	H20	H21	H21 広島県
英語授業がすき	44.8%	58.0%	57.0%
小6	H20	H21	
英語活動がすき	74.4%	70.8%	

※ 広島県基礎・基本定着状況調査より

7. 体験活動推進事業費

【総括】

- ・全小中学校において、安芸高田少年自然の家を活用して集団宿泊活動を実施し、望ましい人間関係を育てるとともに基本的な生活習慣や公衆道徳について体験的に学んだ。

【実施内容】（体験活動推進事業費決算額 1,794,112円）

- ・主な支出内容

節（細節）	決算額（円）	概要
需用費（賄材料費）	234,314	・各小中学校炊飯活動費
使用料（会場借上げ料）	392,400	・各小中学校施設使用料

<国・県費委託事業関係>

節（細節）	決算額（円）	概 要
豊かな心を育てる体験活動推進事業 （広島県教育委員会）	552,095	指定校：吉田小学校

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 吉田小学校において実施した通学合宿については、児童の仲間づくりや自立心の醸成に大変有効であったので、そういった通学合宿等の長期宿泊合宿の実施について、拡大の方向で検討し特色あるより効率的な集団宿泊活動を検討したい。

8. 適応指導教室運営事業費

【総括】

- ・適応指導教室「あすなる学級」を運営し、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立に向けて支援した。

【実施内容】（適応指導教室運営事業費決算額 8,051,628円）

- ・主な支出概要

節（細節）	決算額（円）	概 要
報酬（非常勤職員報酬）	6,552,000	・指導員3名の報酬
需要費（光熱水費）	284,542	・あすなる教室ガス、電気代

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 在籍生徒6名のうち、3名が高校進学を機に学校復帰、2名は進級を機に部分的に学校に通学、また、あすなる教室に毎日通級できるようになり、状況は前進している。
- 市全体の組織的な教育相談体制を整備し、学校との緊密な連携の中で、在籍していない不登校児童生徒への取り組みを展開する必要がある。

9. 生徒指導対策充実事業費

【総括】

- ・2小学校を拠点として家庭教育支援員を配置し、保護者に対する教育相談等を実施し、不登校や問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応を図った。
- ・学校アドバイザーとして専門家を定期的に招聘し、生徒指導研修会、小中連携研修会、校内研修会等において指導を受け、教職員の指導力の向上を図った。

【実施内容】（生徒指導対策充実事業費決算額 4,157,923円）

- ・主な支出内容

節（細節）	決算額（円）	概 要
報償費（謝礼金）	4,108,840	・家庭教育支援員2名への謝礼金 ・学校アドバイザーへの謝礼金

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 家庭教育支援員は、家庭訪問や教育相談など学校との連携による積極的な家庭教育支援を行った。保護者からの相談を受け、必要に応じて、医療・福祉の関係機関と連携し、事案の早期改善を図った。保護者と学校のパイプ役として、両者の円滑な信頼関係の構築を図った。
- 今後、家庭教育へ福祉的側面からの支援体制を必要とする事案の増加が考えられる。教育相談体制の充実のために、家庭教育支援員の配置、職務内容等を検討し、より有効活用を図りたい。
- 各校不登校対応を中心的な教育課題の一つとしてとらえ、重点的に取り組んでいる。生徒指導主事を中心とした生徒指導体制が整備され、組織的な対応ができています。
- 小中学校での不登校、小学校での暴力行為に増加傾向が認められる。事例を分析し、各事案に適正に対応するとともに、未然防止の視点から、自尊感情の育成、規範意識の醸成に向けて教育活動全体を通して取り組む必要がある。また、小中連携等学校間連携をさらに深め、同一の見通しをもって児童生徒の健やかな育成に取り組んでいく。

学校種	種別	H19	H20	H21	H21 (広島県)
小学校	暴力行為	1.9(3)	0.7(1)	4.6(7)	1.5
	いじめ	1.3(2)	0.7(1)	1.3(2)	0.9
	不登校	0.38(6)	0.2(3)	0.4(6)	0.38
中学校	暴力行為	9.5(6)	3.7(3)	3.7(3)	13.0
	いじめ	2.4(2)	3.7(3)	3.7(3)	3.2
	不登校	4.36(37)	3.05(25)	3.83(31)	3.06

※いじめ暴力行為…児童生徒 1,000 人あたりの発生数 () は実数

※不登校…全児童生徒数に対する不登校児童生徒の割合 () は実数

10. 開かれた学校づくり推進事業費

【総括】

- ・学校評議員、学校関係者評価委員を委嘱し、学校経営に対する評価を受け、学校経営改善に生かした。

【実施内容】 (開かれた学校づくり推進事業費決算額 1,102,400 円)

- ・主な支出内容

節(細節)	決算額(円)	概要
報酬(委員等報酬)	973,000	・学校評議員 52名の報酬
報償費(謝礼金)	129,400	・学校関係者評価委員 84名への謝礼金

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 学校評議員会議、学校関係者評価委員会ともに定着し、各校とも年間3回程度実施した。そこでの評価や議論を生かし、学校経営改善につなげている。
- 学校公開の在り方を工夫するなど、学校教育への地域・保護者参加を促し、さらなる「協育」の深化を図り、開かれた学校づくりのより一層の推進を図る。

1.1. 人材育成事業費

【総括】

- ・主催研修会の実施、教育研究団体の育成、教職員の研修会参加支援を行い、教職員の指導性の向上、職能成長を図った。
- ・県費負担教職員の服務監督者として、服務規律確保への指導を徹底し、適正な人事管理を行った。

【実施内容】（人材育成事業費決算額 2,667,220円）

- ・主な支出内容

節（細節）	決算額（円）	概要
負担金補助及び交付金（負担金）	2,569,980	・小中教職員の研修会参加負担金 ・教育研究団体負担金
報償費（謝礼金）	86,200	・市教委主催管理職研修講師謝礼金等

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 管理職研修において、講師を招聘し、国・県の教育の動向をいち早く情報提供した。また、人材育成、危機管理対応等の事例研究を行い、時機を得た実践的な研修を行うことで、管理職の職能成長を図った。
- 教職員の指導力の向上のために、職員の自主研究組織の活動助成及び教職員の国、県の教育研究団体や研修会への参加助成を行った。教育の動向を踏まえた時機を得た質の高い研修内容が提供され、効率的な人材育成であると考えている。

1.2. 幼稚園管理運営事業費

【総括】

- ・幼児の健やかな成長のために適切な環境を整備し、教育活動を実施した。
- ・就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、幼保小連携事業を推進し、教育課程等の研究をした。
- ・幼稚園における預かり保育や園開放を実施し、子育て支援対策の充実を図った。

【実施内容】（幼稚園管理運営事業費決算額 6,596,776円：職員人件費を除く）

- ・主な事業内容

節＜細節＞	決算額（円）	概要
報酬＜非常勤職員報酬＞	2,387,534	非常勤職員2名の報酬
備品購入費＜一般備品＞	979,554	テレビ、園庭固定遊具、ブロック他

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

＜預かり保育実績＞	区分	延べ人数	預かり保育料
	平日（14：00～17：00）	1,424人	284,800円
	長期休業中（8：30～17：00）	235人	117,500円

- 預かり保育を実施し、幼稚園教育にも求められている子育て支援対策を充実して行った。
- 園開放を実施し、保護者 地域の子育てを支援した。
- 幼保小連携研修を実施し、お互いの実態、教育内容等の理解が進んだ。今後も更なる研究、協議が必要である。
- 安芸高田市として検討がすすめられている認定こども園について、就学前教育の基準（施設設備、教育内容等）について研究する必要がある。

IV 生涯学習課

1. 社会教育総務管理費

【総括】

- ・社会教育担当係（旧教育分室）に、正規職員、社会教育指導員・社会教育専門員（非常勤特別職）のほか、事務補助として派遣職員を配置した。
- ・社会教育事業や施設の運営等に関して助言を得るため、社会教育委員、公民館運営審議会委員を委嘱し、会議を開催した。

【実施内容】（社会教育総務管理費決算額 28,058,132 円）

区 分	決算額（円）	概 要
社会教育指導員、社会教育専門員の配置	13,093,700	・社会教育指導員 5 人、社会教育専門員 1 人の報酬及び旅費
社会教育委員の会議、公民館運営審議会運営事業	602,300	・社会教育委員報酬、公民館運営審議会委員報酬 ほか

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 社会教育委員の会議から「今後の社会教育施設の維持管理の在り方について」の答申を受けた。
- 公民館運営審議会から「今後の公民館事業の在り方について」の答申を受けた。
- 地域の社会教育施設において主要な役割を果たす社会教育指導員等に対し、体系的な研修を行い、資質の向上を図る必要がある。
- 公民館運営審議会については、公民館施設の実態から本来の役割を果たしていない。よって将来的な廃止を検討する。

2. 施設維持管理費

【総括】

- ・向原若者定住環境整備施設（若者センター）のほか、教育委員会の所管する基幹集会所 3 施設、地区集会所 13 施設の維持管理を行い、市民の生涯学習活動等の利用に供した。

【実施内容】（施設維持管理費決算額 41,182,469 円）

区 分	決算額（円）	概 要
向原若者定住環境整備施設指定管理事業	8,421,000	・委託事業内容 ○収入 9,040,526 円 ・指定管理料 8,421,000 円 ・施設利用料 491,400 円 ・雑収入 128,126 円 ○支出 8,719,769 円 ・給料、賃金 4,636,138 円

		<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 439,895 円 ・光熱水費 1,415,283 円 ほか ・年間利用者数 15,031 人
基幹集会所維持管理事業	6,889,403	・深瀬コミュニティ会館浄化槽設置工事 ほか
地区集会所維持管理事業	9,621,666	<ul style="list-style-type: none"> ・花の木教育集会所下水道接続工事 ・古井出集会所浄化槽設置工事 ほか

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 国の経済対策事業を活用し、下水道接続等の必要な施設整備をすすめることができた。
- 基幹集会所、地区集会所については、指定管理や譲渡等により施設の再編整理を行うことが必要である。

3. 生涯学習推進事業費

【総括】

- ・成人式、放課後子ども教室などの生涯学習事業を実施した。
- ・安芸高田市 PTA 連合会、安芸高田市子ども会連合会に補助金を交付し活動を支援した。

【実施内容】（生涯学習推進事業費決算額 4,881,803 円）

区 分	決算額（円）	概 要
放課後子ども教室推進事業 （県補助事業）	2,252,200	・かわね放課後子ども教室運営委託料 ほか
団体活動支援事業	1,098,000	・市 PTA 連合会、市子ども会連合会補助金

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 主要な社会教育関係団体である市 PTA 連合会、市子ども会連合会については、単に補助金を交付するだけではなく、共催により各種研修を実施し、市の教育をすすめる上で共通認識を持つことができた。
- 川根地域の放課後子ども教室は、地元自治振興組織に運営を委託し、円滑に教室を開催しているが、補助事業の終了を想定し今後の事業のあり方を検討する必要がある。

4. 人権教育事業費

【総括】

- ・人権教育の推進にあたって、人権尊重の理念が日常生活の中で根づくよう、普遍的視点からの取り組みを重視しながら、研修会や映画上映会などを開催した。

【実施内容】（人権教育事業費決算額 460,600円）

区 分	決算額（円）	概 要
委員、職員等研修	86,500	・研修に係る講師報償費
映画上映会	367,500	・映画上映委託料

※他にも「成人教育事業費」において人権教育に関する学習機会を提供している。

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

□ 講演、映画上映、参加体験型学習など、多様な手法により市民の人権感覚を醸成するような学習機会を提供した。

■ 特に、子どもの人権を守るという観点から、保護者を対象とした学習機会の提供を充実させる必要がある。

5. 成人教育事業費

【総括】

・平和で民主的な社会の形成者として、必要な資質を備えた心身ともに健康な成人の育成のため、文化センター、公民館を主要な会場として、様々な学習機会を提供した。

【実施内容】（成人教育事業費決算額 4,566,363円）

区 分	決算額（円）	概 要
IT 基礎技能習得講座開催事業 （パソコン講座）	1,533,525	・講座開催業務委託料 ほか
高齢者大学開催事業	2,202,008	・講師報償費、講師派遣委託料 ほか

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

□ 他の関係課と連携しながら、健康、消費者問題、高齢化社会などの現代的課題を中心に多様な学習機会を提供することができた。

■ 上記以外の講座（市民セミナーなど）については、地域によって実施回数や内容に隔たりがあり、調整が必要である。

6. 青少年教育事業費

【総括】

・心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、放課後や週末等を活用して、様々な学習機会を提供した。

【実施内容】（青少年教育事業費決算額 855,517円）

区 分	決算額（円）	概 要
地域子ども教室推進事業	855,517	・講師報償費、映画上映委託料 ほか

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 青少年に様々な体験活動を提供するとともに、地域指導者の活用により地域教育力の向上に資することができた。
- 地域によって実施回数や内容に隔たりがあり、調整が必要である。

7. 家庭教育支援事業費

【総括】

- ・家庭教育支援の充実のため、保護者等を対象とした家庭教育に関する学習機会を提供した。

【実施内容】（家庭教育支援事業費決算額 364,500円）

区 分	決算額（円）	概 要
家庭教育支援事業	364,500	・講師報償費
『親の力』を学びあう学習プログラム」ファシリテーター養成事業	0	・社会教育指導員、社会教育専門員を対象に、参加体験型学習プログラムをすすめるファシリテーター養成研修を行った。

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 保護者等に対する学習機会を24回提供した。
- 広島県のすすめる参加体験型学習『親の力』を学びあう学習プログラム」ファシリテーター養成研修を実施した。
- 今後は高校や企業などに対象を広げるとともに、ファシリテーターを活用した参加体験型学習により、効果的な学習プログラムを普及させることが必要である。

8. 公民館維持管理事業費

【総括】

- ・公民館の維持管理を行い、市民の生涯学習活動等の利用に供した。

【実施内容】（公民館維持管理事業費決算額 6,692,691円）

区 分	決算額（円）	概 要
美土里北生公民館維持管理事業	203,843	・清掃業務委託料、修繕料 ほか
甲田公民館・甲田浅塚公民館維持管理事業	2,086,006	・施設管理委託料、光熱水費 ほか
向原公民館維持管理事業	4,402,842	・人材派遣委託料、備品購入費 ほか

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 社会教育委員の会議より「今後の社会教育施設の維持管理の在り方について」の答申を受け、今後の公民館の維持管理の在り方について、基本的な考え方を整理した。
- 「答申」を参考に公民館の今後の維持管理方針を決定し、必要な措置を執ることとする。

9. 少年自然の家管理運営事業費

【総括】

- ・ 青少年が自然とのふれあいの中で、学校や家庭ではできない自然体験活動や仲間や指導者と一緒に集団宿泊生活を行うことにより、学ぶ心・思いやりの心・規範意識などを育むなど、力強い子どもの成長を支える教育活動を展開する。

【実施内容】（少年自然の家管理運営事業費決算額 30,203,025 円）

①施設の利用状況

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	備 考
延利用者数（人）	21,928	19,998	
宿泊者数（人）	7,886	7,160	

②事業概要

区 分	決算額（円）	概 要
意欲を育む自然体験推進事業（県委託事業） 「安芸高田市里山夢体験推進事業」	420,047	○指導者養成研修会 「ユースサポーター養成研修兼運営スタッフ研修」等 3回 ○体験活動等の実施 「秋のチャレンジ ～野外炊事に挑戦！」 ほか 3回（参加人数延べ31人）
施設管理運営事業	26,628,488	○需用費 1,310,129 円 施設消耗品、事務用品、光熱水費 等 ○委託料 24,456,101 円 保守点検業務、食堂業務、人材派遣業務 施設管理業務 ○使用料及び賃借料 862,258 円 下水道使用料 事務機器借上料等
施設整備事業	3,154,490	○排水溝設置工事等 2,142,000 円 ○備品購入費 476,280 円 掃除機 13台 ラジオカセット 1台 デジタルカメラ 1台 ○施設等修繕費 536,210 円 アスレチック修繕、アルミ間仕切り取替 体育館照明修繕等

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 「少年自然の家」の有効活用のため、昨年度に引き続き、市内児童・生徒の不登校対策として適応指導教室と連携し、「意欲を育む自然体験推進事業（広島県委託事業）」を実施し、県教育委員会とともに事業効果について検証した。
- 「少年自然の家」については、下半期（10月～3月）の施設利用が少ない状況にある。自主事業の実施等により施設利用を促進するとともに、施設の利用状況に応じた人員配置等を行い、効率的な運営体制を整える必要がある。

10. 国際交流事業費

【総括】

- ・ インフルエンザの世界的流行により、姉妹都市ニュージーランド・セルウィン町及び姉妹校シンガポール共和国・メイフラワー中学校との相互派遣交流は実施を見送った。

【実施内容】（国際交流事業費決算額 350,000 円）

区 分	決算額（円）	概 要
ニュージーランド交流事業	300,000	・安芸高田市ニュージーランド事務所 業務委託料
団体活動支援事業	50,000	・安芸高田市国際交流協会補助金

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 事業を中止し、派遣交流によるインフルエンザ感染を未然に防いだ。
- 青少年ニュージーランド派遣事業については、募集定員枠（高宮中学校7名、他の中学校各1名 計12名）を見直し、各中学校を均等にする必要がある。

11. 民俗資料館運営事業費

【総括】

- ・ 吉田歴史民俗資料館及び甲田郷土館の管理運営を行い、重要な歴史資料の調査研究と保存管理を行うとともに、企画展や公開講座などの自主事業を行った。

【実施内容】（民俗資料館運営事業費決算額 28,820,269 円）

区 分	決算額（円）	概 要
吉田歴史民俗資料館指定管理事業	12,006,000	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業内容 ○収入 13,715,800 円 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 12,006,000 円 ・施設利用料 1,443,500 円 ・雑収入 266,300 円 ○支出 13,070,638 円 <ul style="list-style-type: none"> ・給料、賃金 5,014,838 円 ・委託料 2,143,150 円 ・光熱水費 1,601,961 円 <p style="text-align: right;">ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間入館者数 5,785 人
歴史・伝統文化学習機会提供事業	1,331,000	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展ポスター等印刷費、公開講座講師報償費 ほか
歴史資料整理調査事業	11,775,650	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料調査人材派遣委託料 ・廃棄公文書整理等業務委託料

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 国の登録博物館として、「安芸高田市吉田歴史民俗資料館」から「安芸高田市歴史民俗博物館」に施設名称を変更した。
- 歴史資料を市内の公共施設において効率的に保管するため、資料の状況調査を実施した（甲田・吉田地域）
- 歴史資料の適切な保存管理をすすめるため、老朽化した「甲田郷土館」を用途廃止した。
- 甲田支所裏倉庫及び議場を活用し、民具等の歴史資料を収蔵する施設として改修を行った。
- 旧「甲田郷土館」内の民俗資料を速やかに他の施設に移動し、適切に管理する必要がある。
- 旧「中国電力吉田営業所」社屋を改修し、歴史資料を効果的に展示する施設として活用する。

1.2. 文化財保護事業費

【総括】

- ・安芸高田市の文化財の保護と活用をすすめるため、史跡「郡山城跡」の城下町を中心に案内看板、説明板等の整備を行った。
- ・開発事業に伴う埋蔵文化財の調査を行った。
- ・市内の伝統文化保存伝承団体に補助金を交付し、その活動を支援した。

【実施内容】（文化財保護事業費決算額 7,100,250円）

区 分	決算額（円）	概 要
指定文化財等看板類整備事業	3,066,000	・案内看板、説明板等の新設、修繕工事
埋蔵文化財試掘調査事業	1,574,685	・深瀬地区圃場整備事業に係る埋蔵文化財試掘調査業務委託料 ほか
伝統文化保存伝承活動支援事業	1,395,000	・吉田子供歌舞伎壇尻屋台保存会補助金 ・原田はやし田保存会補助金 ほか
文化財保護審議会運営事業	289,700	・委員報酬 ほか

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 日本100名城の「郡山城」を中心とした説明板等の整備を行うことにより、文化財の保護と活用を進めるとともに、観光面における基盤整備を促進した。
- 「甲立古墳」について広く周知を図るとともに、地元住民の理解を得るため、現地研修会及び地元説明会を開催した。
- 文化財保護審議会の答申を受け、「甲立古墳」を市史跡に指定した。
- 「甲立古墳」の保存や調査に関する基本的な方針を検討するための専門委員会を設置する必要がある。
- 市内文化財のガイドマップを作成し、文化財に関する学習等の活用を促進する必要がある。

V 文化スポーツ振興室

1. 図書館運営事業費

【総括】

・市内6館の図書館の維持管理（図書資料の購入整備等）並びに運営。平成19年度、クリスタルアージョ完成とともに、中央図書館が開館。以後、中央図書館を旗館として位置づけ、中央図書館長が全館の館長を兼務し、全館が統一した図書館サービスを市民に提供。

【実施内容】（図書館運営事業費決算額 61,713,216円）

区 分	決算額（円）	概 要
図書館資料整備	7,505,341	図書資料・AV資料購入整備（備品購入費） 新聞・雑誌購入整備（追録図書費） 図書データ作成費（委託料） オンラインデータサービス（使用料）
図書館運営費	42,095,567	館長報酬（非常勤特別職） 図書館員（派遣職員人件費） 移動図書館車維持管理・運営費
図書館協議会運営費	56,000	1回開催 図書館協議会委員 8名
読書推進事業	57,340	読み聞かせボランティア講座 講師 小林いづみ 延受講者数 185名/4回
図書管理システム更新	8,872,500	図書管理システム更新・保守委託料

参考) 図書館利用状況

区 分	平成20年度	平成21年度	比較（H21-H20）
年度末蔵書冊数（冊）	152,973冊	167,447冊	14,474冊増
年度末累計登録者数（人）	12,275人	13,885人	1,610人増
年間個人貸出冊数（冊）	186,375冊	195,006冊	8,631冊増
年間個人貸出人数（人）	47,346人	47,901人	555人増

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 図書管理システムを更新（平成20年度に機器を更新。）し、処理速度の向上をはじめ、貸出確認票の印刷、インターネットによる図書の検索、利用者開放端末による図書書架位置の表示等により事務の効率化と利用者への利便性の向上を図った。
- 美土里図書館館内整備を行い、美土里小学校の図書資料を市立図書館の図書管理システムに登録し、同一管理できるようにすることで、主に美土里小学校児童の利便性の向上と事務の効率化を図った。
- 県の緊急雇用対策事業を活用し、寄贈図書資料の整理・登録を行った。
- 平成22年度から派遣職員による図書館運営を、業務委託に変更する。また、館長を非常勤職員から課長が兼務することで人件費の削減を図る。さらに、開館・休館日を統一し、中央図書館以外の5館の開館時間を1時間削減する。図書館運営費の削減が、市民のニーズに対する効果的

なサービスと安定運営に影響がないかを検証し、必要に応じて業務を改善しながら確立させる必要がある。

2. 文化センター運営事業費、美術館運営事業費、文化芸術振興団体育成事業費

※中事業合算

【総括】

・市民の文化・芸術活動の振興を図ることを目的として、市民文化センター（クリスタルアージュ）を中心とした市内6館の市文化センターを活用し、優れた文化・芸術鑑賞機会の提供、並びに市民の文化・芸術活動の発表機会の提供を行った。

【実施内容】（文化センター運営事業費、美術館運営事業費、文化芸術振興団体育成事業費決算額 76,857,979円 ※中事業合算）

区 分	決算額（円）	概 要
文化センター運営事業	53,604,201	<p>【文化センター運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市文化センター等自主事業・共催事業 16 公演 ○広島県美術展巡回展 ○あきたかた市民文化祭（舞台発表・展示発表） ○けんみん文化祭（地区大会・県決勝大会） ○宝くじ文化公演 森公子コンサート ○各種小中学校対象文化事業（県／文化庁事業） <p>【文化センター維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費（消耗品／燃料費／光熱水費／修繕費） 5,163 千円 ○委託料（業務委託・保守業務委託）19,657 千円 ○指定管理委託料（八千代フォルテ）8,800 千円 ○派遣委託料（派遣職員3名）5,368 千円 ○使用料及び賃借料 2,393 千円 ○備品購入費（地デジ対応テレビ等）3,299 千円
文化活動団体支援事業	3,000,000	<p>【大会・運営補助金による支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安芸高田市文化団体連合会 800 千円 ○文化創造センター運営委員会 234 千円 ○市民文化祭実行委員会 200 千円 ○各町文化祭実行委員会 1,398 千円
美術館運営事業費	20,253,778	<p>【八千代の丘美術館運営事業】 18,821 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○15 棟ギャラリー運営 第8期入館作家15名 年2回作品入替 ○企画展 年間18回開催（市内小中学生自画像展他） ○その他文化・芸術事業 入館作家公開講座・企画展公開講座 年52回 <p>【市民ギャラリー向原運営事業】 1,433 千円</p>

		○和高節二常設展 ○企画展 年間7回開催（福田愛子作品展他） ○和高節二寄贈作品修復（2点 「農婦」、「鯉」）
--	--	---

（参考）実施事業内容

区 分	概 要
優れた芸術文化の鑑賞機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○市民文化センター NHKキャラクター「ワンワンとあそぼうショー」1,145千円 第61回広島県美術展巡回展 292千円 大型人形劇「三国志」公演 1,208千円 文化庁優秀映画鑑賞推進事業 158千円 懐かしの映画上映会「昭和映画史の重鎮 小津安二郎の世界」 けんみん文化祭分野別フェスティバル（芸能の祭典） NHK公開録画「俳句王国」（NHK共催事業） 茂山狂言公演 1,879千円 ○八千代文化施設フォルテ 映画「余命一ヶ月の花嫁」・女性の健康づくり講演会 420千円 （保健医療課との合同開催） ○美土里生涯学習センターまなび 広島ジュニアマリンバアンサンブル公演 70千円 （美土里文化祭協賛事業） ○甲田文化センターミューズ 宝くじ文化公演 森公子コンサート（宝くじ助成事業） 広島ジュニアマリンバアンサンブル公演 70千円 （甲田芸術祭協賛事業） ○吉田文化創造センター（文化創造センター運営委員会主催） 伊賀上絃滋ジャズライブ他6公演
市民の学習成果発表機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○あきたかた市民のど自慢（真木洋介出演）367千円 ○あきたかた市民合唱祭 70千円 ○あきたかた市民文化祭（芸能・展示）（市民文化センター） ○けんみん文化祭芸北地区フェスティバル（市民文化センター） ○各町文化祭（各文化センター・向原公民館） ○第5回あきたかたウィンドアンサンブル定期公演（共催事業） （高宮田園パラッツォ） ○ひろしま夏の芸術祭「街角コンサート」 （市民文化センター／美土里まなび／甲田ミューズ） ○クリスマスロビーコンサート（市民文化センター）
市内小学校対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ○広島交響楽団音楽鑑賞教室（市内小学校高学年） （市民文化センター） ○吉田高等学校吹奏楽部・吉田中学校吹奏楽部合同演奏会 （共催事業／市民文化センター）

	○児童演劇地方巡回公演（県事業／向原小学校） ○学校への芸術家等派遣事業（文化庁事業／甲立小学校） ○本物の舞台芸術体験事業（文化庁事業／甲田中学校、船佐・来原・川根小学校、甲立小学校、小田小学校）
--	---

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 文化センターの維持管理関連の業務委託等の事務処理を一括することにより、事務の効率化と経費のコストダウンを更に図った。
- 文化センター自主事業として、優れた芸術文化の鑑賞事業のみならず、「あきたかたのど自慢」、「あきたかた市民合唱祭」といった市民の芸術文化の活動成果発表機会の提供並びに参加型の事業を新設し実施した。
- 美術館運営については、入館作家による安定的な運営を基盤として、企画展、公開講座等多数の企画を実施し、入館者を確保した。美術館のホームページを民間サーバから、市ホームページサーバに移設することで、維持管理経費の軽減を図った。
- 文化センターの維持管理については、業務の一括契約等事務の一層の効率化と経費削減を図る必要がある。（機械警備業務の一括業務委託契約等）
- 各センターでの文化事業を受託し企画運営できる民間団体の組織化・育成を図る。
- 八千代の丘美術館については、館職員のみによる安定した館運営を図るとともに、八千代の丘美術館にて市民ギャラリー向原の運営、県美展巡回展等市内全体の美術関連事業執行を図るよう推進する。

3. 保健体育総務管理費、体育施設維持管理費 ※中事業合算

【総括】

- ・スポーツ振興会議において、スポーツ振興計画を策定すべく委員の意見交換を行いスポーツ振興計画の建議を受け、教育委員会でスポーツ振興計画を策定した。
- ・全国大会に出場する選手の壮行会の実施等により競技スポーツの推進を図った。
- ・グラウンドやプールなどのスポーツ振興施設の維持管理並びに用具等の整備を行った。

【実施内容】（保健体育総務管理費、体育施設維持管理費決算額 211,119,761 円※中事業合算）

ア 保健体育総務管理

区 分	決算額（円）	概 要
スポーツ振興会議	699,000	委員報酬（委員10名）、会議5回開催 スポーツ振興計画策定のためアンケートの結果等を参考に委員の意見交換を行ない建議を行った。
スポーツ全国大会等出場者支援	220,000	全国大会等出場者壮行会の実施及び奨励金の交付

イ 社会体育施設維持管理

区 分	決算額 (円)	内訳 (円)		利用人数 (人)
スポーツ振興施設 (直営施設)	13,232,440	グラウンド	3,355,740	70,268
		体育館	6,429,000	77,375
		プール	3,447,700	9,807
指定管理施設	162,782,000	吉田運動公園	23,677,000	63,609
		吉田サッカー公園	53,591,000	41,309
		吉田温水プール	47,243,000	34,503
		美土里総合運動公園	4,288,000	8,546
		美土里B&G海洋センター	13,300,000	29,399
		八千代B&G海洋センター	9,987,000	11,993
		高宮B&G海洋センター	10,696,000	20,463

* 直営施設利用人数は、学校開放施設利用人数を含む。

* 美土里体育センターは、北生グラウンド利用人数を含む。

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

□ スポーツ振興会議の建議を受け、スポーツ振興計画を策定した。

□ AEDの整備計画 35施設のうち、今年度文化施設 8施設にリース契約によりAEDを設置し、整備を完了した。

■ 施設の管理については、それぞれの施設の運営方法を検討し、最小限のコストによりそれぞれの施設が機能する管理方法を決定する必要がある。

■ 施設の配置、利用率、老朽化等各施設の機能を総合的に検討し、改修・廃止・使用目的の変更等をすすめる必要がある。

4. スポーツ振興団体育成事業費

【総括】

- ・ 9つのスポーツ団体に活動補助金を交付し、スポーツ人口の拡大を促した。総合型地域スポーツクラブ「みつやの里スポーツクラブ」「いきいきクラブたかみや」の活動を支援し、市民の生涯スポーツの推進を図った。
- ・ 海洋体験学習については、B&G財団のプログラムを活用し、マリンスポーツを楽しみながらチームワークを学び、全国から集まった子ども同士の交流を図った。

【実施内容】(スポーツ振興団体育成事業費決算額 19,752,535円)

団体名	決算額 (円)	団体事業の概要
安芸高田市体育協会	4,350,000	・市総合スポーツ大会の実施 ・各地区体育協会の活動支援
安芸高田市スポーツ少年団	1,731,000	・単位スポーツ少年団の活動支援及び日本スポーツ少年団登録事務
みつやの里スポーツクラブ	2,000,000	・子どもから高齢者までのスポーツ活動の実施

いきいきクラブたかみや	9,000,000	・子どもから高齢者までのスポーツ活動の実施
安芸高田市サッカー協会	400,000	・サッカーの普及、振興 ・ジュニアの競技力向上、育成
安芸高田市ハンドボール協会	1,142,035	・ハンドボールの普及、振興 ・ジュニアの競技力向上、育成
安芸高田市カヌー協会	280,000	・カヌースポーツの普及、振興 ・カヌー競技力の向上
安芸高田市サンフレッチェファンクラブ	400,000	・サンフレッチェ広島応援活動
安芸高田市ゲートボール協会	300,000	・ゲートボールの普及、振興

(個人)

区 分	決算額 (円)	概 要
B & G 事業海洋体験事業	149,000	B & G 財団が主催する海洋体験プログラムへの参加助成

【成果及び今後の課題】 □ : 成果 ■ : 課題

□ 総合型地域スポーツクラブ「みつやの里スポーツクラブ」や「いきいきクラブたかみや」の活動により、市民の生涯スポーツの推進を図ることができた。

■ スポーツ団体の自立方法について検討する必要がある。

5. スポーツ教室・大会等開催事業費

【総 括】

- ・ 安芸高田市にかかわりの深いサンフレッチェ広島及び湧永製薬ハンドボール部の応援をとおして、見て応援するスポーツを推進した。

【実施内容】 (スポーツ教室・大会等開催事業費決算額 4,147,171 円)

(ア) 開催事業

区 分	決算額 (円)	概 要
運動部活動外部指導者活用事業	621,000	市内中学校の運動部に外部指導者を派遣し、地域の専門的指導者を活用するとともに、運動部活動と地域との連携を促進
サンフレッチェ広島の応援	2,001,000	8月1日広島ビッグアーチでおこなわれた対鹿島アントラーズ戦を、安芸高田市スポンサードゲームとして市民754人で応援した。
ハンドボール教室	233,824	湧永製薬ハンドボール部の指導による、甲田町内小学校3校及び吉田小学校・向原小学校でのハンドボール教室の開催
その他地区スポーツ大会等開催事業	1,291,347	ラジオ体操の集い、ソフトバレーボール大会、駅伝大会等の開催

【成果及び今後の課題】 □ : 成果 ■ : 課題

□ 運動部活動外部指導者活用事業により、専門性の高い技術指導を生徒に提供できた。

□ ハンドボールをはじめとしたスポーツ教室や駅伝大会などの実施により、多種目のスポーツを

提供できた。

- スポーツボランティアを育成する必要がある。

6. スポーツ指導者等育成事業費

【総括】

ラジオ体操指導者の育成を目的のひとつにあげて、体育指導委員研修等をすすめた。

【実施内容】（スポーツ指導者等育成事業費決算額 813,590円）

区 分	決算額（円）	概 要
体育指導委員育成事業	813,590	体育指導委員研修会等の研修活動

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

□ 体育指導委員の協力により、ラジオ体操が地域に根付きつつある。

■ さまざまなスポーツ指導者の育成を図る必要がある。

VI 地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業

【総括】

国の緊急経済対策による補正予算を受け、次の事業を実施した。

【実施内容】 【地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業決算額 71,453,875 円】

(単位:円)

課名	中事業決算額	主 な 事 業 内 容	
教育総務課	29,884,250	学校教育環境整備事業	・市内 13 小中学校修繕工事実施設計業務 ・市内 6 小中学校修繕工事
生涯学習課	36,385,250	生涯学習施設整備事業	・吉田歴史民俗資料館渡り廊下建築工事 ・甲田支所2階及び庁舎裏車庫改修工事 ・郡山城跡周辺整備工事
		少年自然の家改修事業	・少年自然の家三角棟エアコン設置工事
文化スポーツ振興室	5,184,375	社会体育施設整備事業	・小原プール塗装工事他市内プール修繕工事実施設計業務 外 2 件 ・吉田運動公園トイレ改修工事 ・吉田運動公園体育館玄関ドア修繕工事

【成果及び今後の課題】 成果 課題

- 緊急的な事業や喫緊の地域課題などの補助対象外事業に交付金を活用できた。
- 交付金の活用により、柔軟な予算編成ができた。
- 年度中途の国の緊急経済対策による交付金であったため、その多くは年度内完了できず止む無く繰越事業となった。

Ⅶ 教育行政評価委員会の意見

1. 教育行政評価委員会の設置目的

本市の教育行政を効果的、発展的に推進するとともに、広く市民への説明責任を果たすため、教育に関し学識経験を有する者で構成する「教育行政評価委員会」を設置し、平成21年度に執行した教育行政に関する事務の管理について、教育委員会が行った内部点検及び評価に関して意見を聴取する。

2. 開催日時及び場所

平成22年8月30日(月曜日)午後6時30分～
安芸高田市教育委員会 会議室

3. 出席者

教育行政評価委員 5人

区 分	職 名	委員氏名	備 考
保護者代表	委 員	土居一也	市PTA連合会長(小田東小学校)
学校外部評価委員	副委員長	猪上優彦	小学校外部評価委員(吉田小学校)
	委 員	国山君子	中学校外部評価委員(甲田中学校)
民間有識者	委 員	増原洋志	湧永製薬㈱管理部長
学識経験を有する者	委員長	徳本達夫	大学教授(広島文教女子大学教授)

安芸高田市教育委員会事務局

教育長、教育次長、教育総務課長、学校教育推進室長、生涯学習課長、文化スポーツ推進室長、総務係長

4. 報告

(平成20年度の委員会での意見について、その後の対応、経過等)

- ① 不登校対策に家庭教育指導員や学習補助員の配置が成果を上げていると思う。中学校を含めて、配置の拡大はできないものか。

【報告】 家庭教育支援員制度は、県は平成21年度から制度を廃止したが、市は単独事業として制度を継続し、2名を配置している。また、学習補助員は制度を拡大し、すべての小学校へ配置した。

- ② 学校の耐震化については、学校規模適正化との整合を図りながら、教育・学習環境の安全を優先に取り組みを進めるべきである。

【報告】 平成21年度の学校規模適正化委員会答申を受け、これに基づいて平成22年度に学校規模適正化計画を策定する予定である。また、学校の耐震化は、年次計画に基づいて取り組みを進めており、限りのある財源を有効活用するため、両事業の整合を図るよう努めている。

- ③ 少年自然の家を、市内の小中学生を中心に有効活用していることは理解できるが、市外の学校や団体等へも働き掛け、稼働率を上げる努力を望む。

【報告】 少年自然の家の利用状況は、夏までは極めて盛況であるが、冬季は極端な閑散期となっている。通年の施設稼働率を上げるよう、市外の学校や団体等への集客に努めてはいるが、現在の料金体系では、利用者が増えれば赤字が増える構造であることから、まずは、市内の小中学生の団体訓練、体験学習の場として、活用を図っている。

- ④ スポーツ振興の視点から、ハンドボールの普及については、なかなか全市的な拡大になっていない。スポット的な事業だけではなく、地域や世代を超えた広がりのある取組みとしてほしい。

【報告】 小学校のハンドボール教室は、市内全域へ広がるよう取組んでいる。市内の小中学校及び高等学校のクラブも大会等で好成績をあげており、指導をいただいていることに感謝している。湧永製菓の日本リーグ公式戦に、応援を企画するなど、普及・振興に努めている。

5. 議題

(平成 21 年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について)

6. 委員からの主な意見等

【学校教育に関する事務事業について】

- 学力向上及び国際理解教育において、「英語が好き」という意識が、小学校では、昨年度より大きく上昇している。成果として、もっと強調しても良いと思う。
- 小学校での暴力行為防止のため、児童が情緒不安定にならぬよう、是非、社会・地域を挙げて、受け止めることのできる風土づくりが必要である。人権教育推進と絡めて、子どもたちが安心できる「居場所づくり」が必要と思う。
- 通学合宿の成果が、あまり強調されていないようであるが、合宿を体験した子どもの保護者からは、子どもたちの成長した様子を高く評価されている。成果として、もっと強調しても良いと思う。
- 適応指導教室の教育効果は高いと認識している。たが、職員は非常勤職員であり、今後の課題として処遇を見直すべきではないか。
- 新給食センター稼働後、現在の給食施設はどう活用するのか。
新給食センターにおいては、食材の地産地消を一層推進してほしい。そのことが地域を愛する子どもたちを育てることにつながると思う。
- 学校での講演会などのイベントの企画は非常に工夫されて良いと思うが、参加者が少ない。また、家庭教育などの講演会では、参加者は高齢者が多いのが現実である。なんとか工夫して、子育て中の若い世代を参加させることが急務である。
- 安芸高田市においても、学校でのエコの取組みを一層推進してほしい。

【生涯学習に関する事務事業について】

- 少年自然の家の閑散期の利用について、各種大会やイベント時の活用など、独自事業の開

発も含め、工夫が必要と思う。また、市民サロンや高齢者大学など市民全体の利活用を促進すればよいと思う。

- 各地域で開催されている学習会や市民セミナーなどへ、地域の枠を超えて参加できないか。

【文化スポーツの振興に関する事務事業についての】

- 温水プールやグランドゴルフができる場所など、市民に対して、もっと積極的に情報を提供するべきである。
- スポーツ振興団体育成事業費における「いきいきクラブたかみや」支援事業は、スポーツ振興にとどまらず、健康面にも大きく寄与したことを成果とすれば良い。

【教育行政全般に関する意見】

- 全般的に、成果の部分をもっと強調し、教育行政の成果をPRすれば良いと思う。
- 行政の仕事は、課ごとの縦割りのラインだけではなく、いろいろな担当に関連したマトリックスであると思う。そういう意味から、重なり合い、連携した成果と課題の整理も必要と思う。この成果調書のまとめ方では、この部分が読み取りにくい。
- 近年、女性会を脱退・解散する事例があるが、それに伴って、生涯学習関係情報が入手困難になる場合が認められる。特に、女性に関する情報については、地域振興会女性部へ情報提供をしてほしい。